



糸東小だより



笛吹っ子

平成24年2月22日(水)
2月号 №18

教育目標：やさしく かしく たくましく

金管移杖式

平成24年2月10日(金)5時間目、金管移杖式が行われました。1年間活動してきた6年生から、5年生に金管の活動が引き継がれました。同時に、指揮杖や楽器も引き継がれました。



〔6年生から5年生へ楽器が渡されました。〕

移杖式では、まず6年生が1年間の活動の成果として、これまで演奏してきた曲「聖者の行進」「上を向いて歩こう」「ありがとう」と、今日の日のために練習してきた曲「アフリカンシンフォニー」を演奏しました。その後、6年生代表が「引継の言葉」を述べ指揮杖を返還しました。次に、5年生代表に指揮杖が渡されました。そして、6年生から5年生へ コルネット アルトホルン トロンボーン ユーホonium・チューバ パーカッションの順に楽器が引き継がれました。5年生が演奏のためにステージ前の席に並び、「校歌」を初めて演奏しました。

6年生の演奏した「アフリカンシンフォニー」は、パーカッションの響きが心に残るリズムカルな曲で、たった1回の演奏では惜しいほどの素晴らしい音色でした。

きずな
深めよう 絆 県民運動
絆 いじめ見逃しゼロスクール

学校・家庭・地域が連携して進めよう



【「責任」「伝統」「感動」のスローガンを背に、最後の演奏をする6年生】

6年生男子

初めのころは、「伝統」「責任」「感動」を何も意識せずに上手になればいいとだけ思っていました。ちょうど1年前の移杖式から、「伝統」「責任」「感動」のことを考えずに吹いていました。でも、「ありがとう」を吹き終わり、立った時に、この3つの言葉が頭にうかんできました。ぼくは、「この3つのことがしっかりできたのか。」と思いました。校長先生が、ぼくたちがこの3つのことをしっかりできたとおっしゃったので、とてもうれしかったです。ぼくは、「この1年聞いてくれた人に感動を与えられた。」と思うと、とても気持ちよくなりました。

5年生の演奏を聞いて、「伝統」をつないでいってくれると思いました。もう吹けないと思うと少しさみしいけれど、1年間楽しかったです。

6年生女子

わたしは、最初にユーフォニウムになって、「こんなに重くて大きい楽器をちゃんと演奏できるかな。」と不安に思いました。でも、去年の6年生がとてもやさしく教えてくれたおかげで、金管がとても好きになって、「この楽器でよかった。」と思うようになりました。

運動会で演奏した、「上を向いて歩こう」や糸東小まつりで演奏した「ありがとう」には、ユーフォニウムがメロディを担当するところがありました。毎日がんばって練習して、吹けるようになりました。その時は、今まで練習してきてよかったと思いました。

今日は、「アフリカンシンフォニー」を吹きました。最後の曲でしたが、上手に吹くことができました。今では、ユーフォニウムでよかったと思います。5年生もがんばってほしいです。



【指揮杖返還】



【6年生代表「引継の言葉」】



〔楽器を手に勢ぞろいした5年生〕

5年生男子

金管移杖式がありました。最初に6年生が、「聖者の行進」「上を向いて歩こう」「ありがとう」「アフリカンシンフォニー」を演奏してくれました。ぼくが、一番感動した曲は、「アフリカンシンフォニー」です。新曲だったので驚きました。

次に、5年生が演奏しました。金管の楽器を持った時、とてもきんちょうしました。でも、がんばってできたのでよかったです。まちがえないでできました。後で、6年生から「上手だったね。」と言われとてもうれしかったです。6年生のように上手になりたいです。これから、色々な曲を演奏するので、曲が変わってもできるようにがんばりたいです。

ぼくが6年生の時の金管移杖式では、むずかしい曲を演奏すると思うので、がんばりたいです。今日は、みんなで力を合わせて「校歌」を演奏できたと思います。

5年生女子

今日の金管移杖式の6年生の演奏は、いつも以上にすごかったです。特にわたしは、「アフリカンシンフォニー」が心に残りました。わたしはグロッケン担当だから、どうしてもグロッケン担当の6年生ばかり見てしまいます。グロッケン以外も見てみたら、6年生だからみんな迫力がありました。「さすが6年生！」と思いました。

6年生から受け継ぐ時は、とってもきんちょうしました。だけど、演奏を始めたら楽しくなって、まちがえずにできました。これからは、私たち5年生がみんなのリーダーとして、みんなを引っ張っていけたらいいです。



〔5年生の演奏で退場する6年生〕



〔5年生代表「誓いの言葉」〕